<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－1>

Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	地域に根ざした家つくり
H30採択グループ番号	07 ― 0350 ― 0221

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	各認定住宅の省エネルギー性や快適住環境を、事務局とサポートチームが直接お施主様へお勧めご提案に出向き、施工事業者のほとんどが未経験工務店である当グループの住宅レベル・受注力アップに向けグループ全体として協力体制を作った。

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/03	名称	平成30年度グリーン化事業　説明会				●
	内容	平成29年度からの変更点、共通ルール、採択枠等の説明。								
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称					
	内容	興味ある施主様がいた場合、事務局として事業者とともにお客様のもとへ出向き、内容の説明から資金計画より協力し、事業内容をより理解された上で採用していただくサポートを実施しました。								
	消費者説明会 2		開催日		名称					
	内容									
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/24	名称	5月度勉強会	タイプ	座学		●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/07/20	名称	7月度勉強会	タイプ	座学		●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/09/21	名称	9月度勉強会	タイプ	座学		●
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/11/22	名称	11月度勉強会	タイプ	座学		●
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ			

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		●
	内容	毎月開催している勉強会において、外部講師を招いての未経験施工店向け講演会を実施した。 未経験事業者様より申請申し込みのあった際は、事務局・サポート会社にて随時ご説明に行き、各認定取得や申請の補助を行った。		
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済		発行予定	1	
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴システムプロパティオン		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無	
内容		
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	断熱等級4における住環境の向上はもとより、省エネルギー化へのメリットを毎月のセミナーの中で随時取り上げる等、事業者が広く理解を得られるようよう努めた。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	省エネ講習がある場合、積極的に参加を促し、施工方法や仕様材料等確認したい場合は、構成事業者内で施工中の現場を随時確認できるよう、情報共有を図った。	
BELS工務店の登録数	0 社	

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－2>

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	地域に根ざした家つくり				
H30採択グループ番号	07	―	0350	―	0221

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/12	名称	グリーン化事業　事業者説明会		
	内容	共通ルールの確認、事業の実施概要について						
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称	未定		
	内容	事業者構成員が所有する長期優良住宅仕様のモデルハウスを借用し、それらを所有していない事業者の施主様にも理解していただけるよう、構成員共通の仕様説明会を開催する。 メーカー問屋の展示会バスツアーを利用し、メーカーが推奨するモデルハウスに立ち寄り、仕様説明等情報を共有する。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/26	名称	クサノ勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日		名称	以降未定、随時開催	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	事務局より出向いて、施工指導から、仕様材料等綿密な説明をサポートする。	
取組み②	サポートの有無 2	有	
	内容	毎月開催しているセミナーにおいて、外部講師を招いての未経験施工店向け講演会を実施する。 未経験工務店様からの依頼に応じ、事務局・サポート担当にて随時訪問・ご説明に伺う。	
取組み③	サポートの有無 3	有	
	内容	施工実績のある事業者構成員より、現場の指導をしていただくよう協力体制を図る。	

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴システムプロパティオン

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事務局である、有限会社クサノが窓口となり、顧客情報の共有化をし、業務形態を引き継ぐこととする。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	前年度に引き続き、断熱等級4における住環境の向上はもとより、省エネルギー化へのメリットを毎月のセミナーの中で随時取り上げる等、事業者様との共通理解を図れるよう努める。	
省エネ化に対する取組み （改修）	有	
内容	建材メーカー等の省エネルギー説明会・イベントを積極的に利用し、工務店様、お施主様、共に共通理解を深められるよう努める。	

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/26	
内容	グリーン化事業説明会時に、フラット35Sに基づく「省エネルギー性」の技術基準研修を行う。			
研修計画 ②		実施日		
内容				

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－3>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	地域に根ざした家つくり				
H30採択グループ番号	07	―	0350	―	0221

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	地域に根ざした家つくりを推奨すると共に、イベント等を通じて地域の特色を生かした住宅の普及活動を推進する。 各事業者の繁栄と地域の活性化に寄与する活動を推進する。 地球温暖化の現象に対し、未来の子孫にの為にいまやCO2削減は人類の至上命題であり、住宅にかかわらず優良建築物に対してもその意義は大きいと考え、本年度の申請においても施主様の個々のニーズにあわせながら省エネ住宅を推奨した上で最適かつ快適な住宅の供給に努めるよう取り組む。	

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		

①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明
主要構造材	土台	有	土台は、桧・ヒバ・米栂・米松【合法木材証明制度（国内・国外）または、ちばの木認証制度（国内）】※樹種により防腐注入材使用 柱は、杉、桧、SPF、RW集成、WW集成、唐松集成【合法木材証明制度（国内・国外）、又はちばの木認証制度（国内）】 梁桁は、杉、米松、EW集成、RW集成、SPF【合法木材証明制度（国内・国外）、PEFC認証制度（国内・国外）又はちばの木認証制度（国内）】
	柱	有	
	梁・桁等の横架材等	有	
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	
造作材	枠材、廻縁等	無	
板材	壁板、床板等	無	

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局より、毎月のセミナー時に適宜施工会社に対し在庫量や価格情報の開示を行う。	
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	毎月のセミナーにおいて、情報を事務局が収集し、施工事業者全体へ案内拡散する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	毎月のセミナー時に適宜施工事業者に対し在庫量や価格情報の開示を行う。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	グループ内にて施工中の物件要所を構成会社メンバーで検証確認し技術向上を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	維持管理計画に基づき、6か月点検と、以降定期的な点検（メンテナンス）の実施を図る。	
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）	有	
内容	各要所において現場写真を撮影管理する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	可能な限り、断熱材仕様、構造躯体仕様の統一化を図る。地震等緊急時に備え、臨時給水設備としてエコキュートの設置を推奨する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	夏場の日射対策として軒の出W600㎜を推奨する。 柱・梁を主体とする構造躯体の断面欠損を考慮し、ピン工法の採用を促す。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	社会労務士を招いた勉強会を開催し、構成員全体への週休二日制導入に対し啓蒙を図る。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	建築業界全体の人材不足・技術者不足を改善するべく、能力・技術力に見合った報酬を確保できるよう、事業者へのサポート体制を構築するよう努める。
③ 社会保険への加入	有	内容	構成員事業者の参加する勉強会において、社会保険加入の必要性を啓蒙する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	可能な限り安全大会を開催し、安全及び健康の確保を事業者だけでなく各工事業者へも広く促す。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－4>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	地域に根ざした家つくり				
H30採択グループ番号	07	—	0350	—	0221

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	和室には畳を、和室のないプランにおいては畳コーナー等の設置を推奨する。
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	有	内容	和室のサッシへ内障子付きを推奨する。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	伝統的佐原の町や住宅の耐震化を行政と一緒に研究する。 市の行政が主催する、町屋研究会定例会への積極的参加を通して、伝統的佐原の耐震化の方法を引き続き研究し、実践できるよう努める。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	香取市においては、重要伝統的建造物群保存地区の指定を受け、町や住宅の保存及び復旧に官民ともに取り組んでおり、行政の関与する研究会への参加を図る。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	日射対策における軒の出を出し、さらに庇・すだれの活用も推奨する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	各地区において街並みに調和するデザインの採用と色使いを図る。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

東日本大震災の被災地にあたり、また地震の発生する確率が高い地域なので、耐震性能を重視した工法とする。
また、経験より液状化現象に留意し地盤調査を行い、その結果を受け液状化に抗えしえるような地盤改良を行うよう対処する。

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

地域材構造躯体を使用し、耐震等級3を推奨する。